



ゆめスクールプラン南部地区推進委員会が、 令和5年8月24日(木)発足しました。

未来創造ゆめスクールプラン基本計画に基づき、南部地区（四賀小学校・中洲小学校・諏訪南中学校）の小中一貫教育を推進するための課題を協議する委員会です。

この3年くらいで不確実性が増し、未来の予測困難な時代が訪れると言われています。学校では、子どもたちにとってどうあったらいいのかということを中心に据えて、これまでの当たり前を見直してきました。そうした中で学校教育は今、大きな変革期にあります。

諏訪市では4月より教育大綱、教育振興基本計画を改定しました。すべての人が多様であるということを前提に、目指す姿の一つとして、皆が一緒に同じペースで同じことを行うよりも、多様な個性や自立した個が尊重され、繋がり合いながら新たな価値を生み出していくことなどを掲げています。本委員会では、学びのあり方、それを支えていく学校施設のあり方を皆様と考えていきたいと思ひます。(委員会発足にあたっての三輪晋一教育長の挨拶より抜粋)



第1回 8/24(木) 於：諏訪市役所

再編整備の考え方と今後の進め方が決まりました。

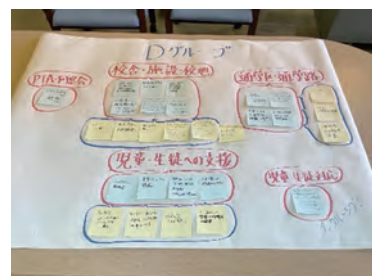
- ◎四賀小学校、中洲小学校、諏訪南中学校を含む南部地区3校を中心的な対象として、現在の諏訪南中学校の敷地を活用し、施設一体型小中一貫校として再編・整備することを目指します。
- ◎学校再編に関わる諸事項を協議していきますが、まずは、学校の建設に関する協議を行います。今後、ワークショップ、先進校の視察、専門家による説明会、児童生徒、先生などからの意見聴取などを踏まえ、令和6年夏を目途に建設のための基本構想の策定を目指します。



第2回 10/24(火) 於：四賀小学校

基本構想策定に向けたグループワークで、課題とその課題解決のための手立てを探りました。※話し合われた一部を抜粋して記載しています。

- ◎委員の皆様から出された主な課題（大規模学校、施設、敷地、通学区、人間関係、多様性と支援、PTA・同窓会 他）や解決策（緑字は解決するためのアイデアの一部）



施設

- ・地域の人が使えらる校舎、交流スペースの設置
- ・多様な子どもたちに対応できる校舎の整備
- ・休日の学校開放（図書館、体育館、校庭） 他
- 2階建て体育館の設置(1F小学生、2F中学生)
- 壁を可動式に(多様な学びを創るオープンスペースを可能にする)他

人間関係

- ・人間関係の固定化、いじめ対策、先生への不安
- ソフト面の充実(スクールロイヤー、スクールカウンセラー、支援員の配置、上級生によるメンター制の導入) 他



第3回 12/15(金) 於：中洲小学校

「高校改革～夢に挑戦する学び～」と題して、長野県教育委員会の高校再編、整備の進め方等についてお話をいただきました。《高校教育課高校再編推進室 主幹指導主事及び施設係 課長補佐兼施設係長》

- ◎例えば、「知識・技能を活用し、正解のない課題に向き合い、自ら問いを立て、解決していく」という、「主体的・対話的で深い学び」を具現化する、これからの学びにふさわしい教育環境の在り方等について共通の認識を得ることができました。

本構想を策定するための、具体的な内容について検討するワーキンググループ(WG)の設置を決定しました。

- ◎「目指す学校像・特色など」、「施設・設備・環境など」の2つのWGで、具体的な内容を検討し、推進委員会に諮ります。児童生徒の意見も基本構想に取り入れるため、市立小中学校に通学している四賀、中洲地区在住の児童生徒に小中一貫校に関するアンケートを実施し、その結果もWGと共有します。

未来創造ゆめスクールプラン

諏訪市の小中一貫教育

『“自らを拓き、未来を生きる”子どもを育てる』 — 令和5年度の実践から —



4中学校区の特徴ある教育

上諏訪中学校区《上諏訪小学校・上諏訪中学校》 教育目標「自らを拓き 未来を生きる」

探究的な学習に力を入れて取り組んでいます。例えば「相手意識に立ったものづくり科」では、相手意識を大切にしながら、多面的な発想、工夫や思いやりの心などを表現した作品づくりをしています。使う人に喜んでもらえるにはどうしたらよいかと「問い」をもち、自分の思いや考えを見つめ直したり、友と話し合い考え直したりするなど、「自己との対話」「他者との対話」を繰り返して、課題解決の糸口を見つけています。

諏訪中学校区《城南小学校・諏訪中学校》 教育目標「自ら学び 認め合い 未来を創る」

小中共通の目標である「あいさつ」は、昨年に続き児童会・生徒会・CSボランティアの3者でコラボをしたり、今年初めて小学生が諏訪中であいさつ運動を行ったりしました。今年度城南小では、自主的に学ぶことを目指した学習方法「単元内自由進度学習」を始め、来年度は両校で研究をしていく予定です。また、ICT教育を各学年で実施しつつ、高学年～中学校を中心に連携して、プログラミング教育を推進しています。

諏訪西中学校区《豊田小学校・湖南小学校・諏訪西中学校》 教育目標「社会の中で私もみんなも『幸せ』になる」

児童生徒への支援教育に関わる取り組みを大事にしています。教育支援ソフトを用いて児童生徒一人一人に合った支援を丁寧に計画することや、義務教育9年間を見通した授業の進め方の工夫を3校で考えています。また、認知機能の要素に対応する「覚える」「数える」「写す」「見つける」「想像する」力を伸ばすためのトレーニングに取り組んだり、子どもたちの読む力を育むための指導・支援をするモデルを小学校低学年で活用したりしています。

諏訪南中学校区《四賀小学校・中洲小学校・諏訪南中学校》 教育目標「自分と友だちを大切に、夢に向かってあゆむ」

3校の関わりを大切にすべく、小中の接続が円滑に進むようオンラインも活用した交流、授業のあり方について研究をしています。特に、6年生の算数の授業においては、諏訪南中学校在籍の小中一貫教育推進教員が教科担任として、小中の学習のつながりを大切にした授業をしたり、遠隔授業システムを有効活用した授業をしたりして、スクールDX推進についても研究を重ねています。



人・地域とのつながり・学びの深まりを目指す子どもたち



上諏訪中学校区

「心のキョリが近くなった！」

小中の校友会・児童会の合同委員会の企画・運営で、「給食」・「みんなで歌を歌おうプロジェクト」・「相互の音楽会参加」等、10余りの合同行事を行いました。



外でみんなで食べる給食は
格別！交流給食



委員会や小・中学生同士の
かかわりやつながりを更に
深めたい。

小・中学生関係なく、心の
つながりができるような企画
をしたい！

上諏訪小学校・中学校 全員集合！！



笑顔あふれる、小中の
縦割り学級で合同レク

「探究的な学びの実践！」

「自己との対話」を繰り返し、解決の
糸口を探る学びを目指しています。



三役で合同レクの企画、
前期は中学生、後期は小学生



落ち葉拾い。重いものを持つとすると
小学生を中学生が優しく手助け！



相手意識に立つものづくり科での取り組み



- 「合同給食では、小学生とお昼を食べながら、たくさん会話をし、今まで以上に小学生との仲を深められた。」（中学生）
- 「合同レクの手つなぎおにでは、やってみると全然転ばなかったし、中学生もペースをあわせてくれたから、ケガもなく楽しめて良かったです。」（小学生）

諏訪中学校区

※1 「9ヶ年を通して！プログラミング的思考を育む」プログラミング教育の実践

各教科等での学びをより確実にするために、小中が連携してプログラムの仕組み等の
理解と、問題解決に活用できるカリキュラムの作成を進めています。



“もし、火を使っているとき地震が起こった
ら？”フローチャートを使って考える（小4）



“人がいるときだけライトを点灯させるには？”
スクラッチで磁気センサーのプログラミング（小6）



“障害物を察知して停止するには？”自動運転
するロボットのプロگرامをつくる。（中2）

※1 児童生徒が、プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考を身に付けさせるための学習活動

「中学生の堂々とした、温かいあいさつに、小学生も応えます」

※2 諏訪中学校、城南小学校、CSのボランティア
3者のコラボでも、交流の活動を進めています。



合同あいさつ運動、小学生が中学校で

※2 コミュニティスクール
学校、保護者、地域の三者が地域の学校運営に参画する仕組み

「単元内自由進度学習」の推進

子どもの自立的な学びを目指す学
習方法です。5.6年生の算数の図
形等の単元で取り組んでいます。

好きな場所で、自分のペースで、学びを深め



- 「自由進度学習は、自分のペースで学べ、分
からないところをゆっくりと考えること
ができました。」（小学生）



「やる気や自信がもてた」夏休みの
ステップアップタイムに中学生も一役

- 「ステップアップタイム※3では、わから
ないとすぐ来てくれて、答えを教え
るんじゃなくてヒントを教えてく
れて、楽しかったです。」（小学生）

※3 自主学習の時間

諏訪南中学校区

「とどけ私たちのメッセージ！」

高齢者の皆さんを励ましたい、1人暮らし約300世帯に

児童生徒一人一人が日々の生活に寄せた思いや学校生活の様子を乗せたメッセージを、
四賀・中洲両地区の社協や民生児童委員の皆さんを通して届けていただきました。



思いを託して

四賀小のAさんへ

お手紙ありがとうございます。うれしかったです。私の子ども二人とも四賀小の卒業生です。
とてもなつかしいです。コロナの後で、今年は久しぶりにいろいろな行事ができて楽
しかったですね。これからも楽しい学校生活を送ってね。このお手紙は私のお宝で
す。大切にします。ありがとうね。

「算数が好きになった！算数の時間が楽しみだ！」

諏訪南中学校の数学科の小中一貫教育推進教員が、小・中学校の教科の
円滑な接続を図るために、6学年でオンラインのシステムを活用した算
数の授業を進めています。



算数のオンライン授業



中洲小、四賀小合同で総合
的な学習の時間の授業

- 「オンラインでも説明ややり方などしっかりわかりました。」
- 「困ったときにすぐに先生に聞けないのが、ちょっと難しかった
けれど、楽しかった。」（小学生）

「製作を頑張ろう！」玩具製作の意欲を更に後押し

小学生にとっては、中学生を身近に感じ、中学生にとっては作品
製作への意欲を更に高めることのできた交流となりました。



木工玩具の試作品を持ち、
小学校へ。遊んでみた感想は



プレゼントされた木工玩具。
中学生の技能の高さに驚き！

諏訪西中学校区

「一人一人の子どもを大事にするインクルーシブ教育の実践」

一人一人の子どもたちがもつ可能性を引き出せるよう、一人一人の力を伸ばすための
支援教育に関わる取り組みをすすめています。



算数の授業



友だちと考える

- 「レベルがいっぱいあるからク
リアできると嬉しい。たくさん
クリアしたら記憶力がつきそう
です。」（小学生）
- 「朝から頭を使うと、授業で学習
がはかどる感じがする。」
（中学生）



タブレットのアプリを活用して
認知機能強化トレーニング

西山3校交流掲示板「こんなことやっているんですね！」

いろいろな活動の写真をしながら、3校の様子をお互いに知っ
て楽しむことができました。来年度は、交流掲示板の名称も揃え
たいという声も聞こえてきました。



それぞれに工夫された交流掲示板

- 「緊張して始まったけど、中学生がリードしてくれたので、小学校からも提案することができて嬉しかったです。」（小学生）

「互いの距離は遠いけど工夫したい！」

3校の児童生徒の代表が集まって、今年度の交流
についてミーティングを行い、活動を始めました。



小学校からも提案
3校合同ミーティング



3校合同あいさつ活動～毎月第1水曜朝～